



TITLE:

編集後記

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記. 京都大学生涯教育学・図書館情報学研究 2005, 4

ISSUE DATE:

2005-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/43877>

RIGHT:

編集後記

本誌が創刊を迎えてからあっという間に3年という時間が経ち、第4号の発行を迎えました。私は第2号の発行から編集委員として雑誌の発行のお手伝いをしてきましたが、この雑誌は本当に多くの方々の投稿や支援によって、支えられ成り立ってきていることを改めて感じます。多様で活発な研究活動により、創刊以来本誌への投稿は年々増加しており、研究室彙報でも多くの活動状況を見ることができます。今年編集委員の中で最高学年として執筆後記を任せられましたが、私が語ることはありません。ただ1つ、今年も多くの投稿原稿をいただき、この紙面を通して心から感謝を申し上げたいと思います。

本誌の形式もだいぶ整ってきています。創刊時には「研究論文」と「研究ノート」しかなかったのに対し、「調査報告」「翻訳」「講演記録」などが追加され、多様な形式で研究報告ができるようになったことが、投稿にも拍車をかけたのではないかと思います。さらに今年は編集委員会で、今後の雑誌の運営や規定にかかわる具体的な話し合いを行い、本誌をいっそう読みやすくすることを心がけました。

今後も本誌が、さらなる研究の土台あるいは潤滑剤となり、研究活動の活性化や深化に大きく用いられることを心から願っています。また内容面だけでなく形式面も定着するといったように、ますます雑誌が発展しいっそう専門性が持たれることを期待しつつ、言葉を終わらせていただきます。

(2005年3月 編集委員会事務局・金 記)